土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　可部八丁目21地区　外　急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

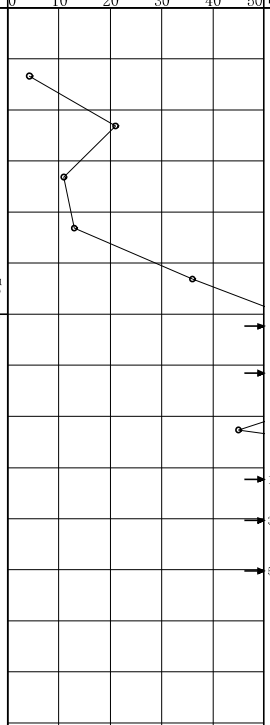
調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	B-4	**調査位置**	広島県広島市安佐北区可部8丁目21			**北緯**	34° 31′ 48.305″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2022年 1月 6日 ～ 2022年 1月 11日	**東経**	132° 30′ 46.959″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 53.59m	**角度**	180° 上 90° 下 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**
総削孔長	13.00m							

試錐機	東邦D-1				
エンジン	ヤンマーNFD13	**ポンプ**	東邦 BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
				礫混じり砂質土		暗褐	rd1		崖錐堆積物。 φ=40mmまでの礫と粗砂を主体とし、細粒分、コア長10cm程度までの玉石を含む。 全体的に暗褐色を呈する。 礫含有量は深度により異なり、部分的に農集し、深度2.5～3.0m間多い。 表層20cm腐葉土	
	51.09	2.50		玉石混じり砂質土						
	50.59	3.00		礫混じり砂質土			rd3			
	48.29	5.30		玉石混じり砂礫		灰	rd4		旧河床堆積物。 コア長25cm程度までの硬質な玉石を含む。 玉石は緑色岩、流紋岩等、異地性のものが多く混じる。 玉石間は砂礫。	01/11 6.00
	44.14	9.45		花崗岩						
	43.59	10.00		花崗岩		灰			花崗岩(DH,CL級、軟岩I) 深度10.0m以浅はDH級で、花崗岩の組織は明瞭に残すが、試料は強い指圧で礫状となる。 深度10.0m以深、CL級となり、コアは柱状で採取されるが、コア肌非常に粗く、ハンマー軽打で礫状に崩れる。	
	40.59	13.00								

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	2	2/160	1/90	5/350		
	1.50						
21	2.15	6	8	7	21/300		
	2.45						
11	3.15	3	4	4	11/300		
	3.45						
13	4.15	5	4	4	13/300		
	4.45						
36	5.15	5	18	13	36/300		
	5.45						
60	6.10	15	23	12/50	50/250	250	
	6.35						
79	7.05	26	24/90		50/190	190	
	7.24						
45	8.10	20	12	13	45/300		
	8.40						
115	9.15	22	28/30		50/130	130	
	9.28						
300	10.00	50/50			50/50	50	
	10.05						
500	11.00	50/30			50/30	30	
	11.03						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
				1/6
				1/7
				1/8
				1/10
				1/11